

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	四国横断自動車道（鳴門～高松市境）
事業主体	国土交通省及び西日本高速道路株式会社

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比（B/C）=2.0 （経済的純現在価値（B-C）=4,639億円、経済的内部収益率（EIRR）=8.5%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	推計年度（H42）削減量 11（百万人・時間/年） 削減率 0.24% 定量的評価指標の算出方法（案）準用
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	高松市⇄大阪駅 240分⇒200分
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	さぬき市⇄高松空港 54分⇒31分	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	徳島市⇄高松港 128分⇒82分
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	にんにく（琴平町、善通寺市）主に京浜市場へ出荷、ハマチ（東かがわ市）主に東京・大阪市場へ出荷 いちご（三木町、東かがわ市）主に京阪神へ出荷
□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する			

1. 活力

都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
	<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
	<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	徳島市⇄高松市
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	東かがわ市⇄高松市
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
	<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	国営まんのう公園整備事業(拠点開発プロジェクト) 西日本中央連携軸(地域連携プロジェクト)
	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	ニューレオマワールド(H19年間観光客入込み数71万人)、栗林公園(H19年間観光客入込み数62万人) あすたむらんど(H19年間観光客入込み数42万人)
	<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
	<input checked="" type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	東かがわ市⇄サンポート高松
	<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	

2. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空間 の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できる くらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	東かがわ市⇒香川県立中央病院 65分⇒37分 東かがわ市⇒香川大学医学部付属病院 48分⇒20分	
3. 安全	安全な生活環境 の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	徳島県、香川県の地域防災計画に「第1次輸送確保路線」として位置づけ
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道11号
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：9.8万t/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	排出削減量：384t/年、排出削減率：0.12%削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	排出削減量：25t/年、排出削減率：0.15%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
	■ その他、環境や景観上の効果が期待される	神社仏閣や観光地、大規模住宅地と隣接している鳴門西PA周辺において、景観保全や周辺住民の環境に配慮した景観設計を実施	

5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	<ul style="list-style-type: none"> ・商業圏域の拡大（暫定2車線供用での実績） 高松市の第一次商圏が拡大 12市町村（H8）→17市町村（H16）⇒5市町村増（市町村合併前の市町村数で計上）【香川県商圏調査報告書】 ・地域産業の振興支援（暫定2車線供用での実績） 工業用地が立地し、近隣の三木町において従業者数、製造品出荷額が増加（H12→H17） 従業者数：1,200人 → 1,500人 ⇒ 約1.3倍増 製造品出荷額：59億円 → 209億円 ⇒ 約1.3倍増 【工業統計調査】

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
四国横断自動車道	鳴門～高松市境	L=52km	高速自動車国道	4車線化

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12,900～17,900	4	国土交通省及び 西日本高速道路 (株)

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成21年度		
単純合計	3,057億円	990億円	4,047億円
うち残事業分	387億円	140億円	527億円
基準年における 現在価値 (C)	3,929億円	573億円	4,502億円
うち残事業分	363億円	56億円	419億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成21年度			
供用年	平成14年度			
単年便益 (初年便益)	172億円	18億円	8億円	198億円
基準年における 現在価値 (B)	7,941億円	844億円	357億円	9,141億円
うち残事業分	1,207億円	42億円	41億円	1,290億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.0
経済的純現在価値（事業全体）	4,639億円
経済的内部収益率（事業全体）	8.5%
費用便益比（残事業）	3.1
経済的純現在価値（残事業）	871億円
経済的内部収益率（残事業）	16.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	12,900~17,900	±10%	2.8~3.4
事業費	419億円	±10%	2.8~3.4
事業期間	3年	±1年	2.9~3.2

交通状況の変化（事業全体）

様式－3①

事業名：四国横断自動車道（鳴門～高松市境）

（推計時点 H42 年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	15,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	34	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	101	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道11号:52.6km	交通量	[台/日]	26,900	19,400
		走行時間	[分]	117	110
		走行時間費用	[億円/年]	235	175
	(県)高松長尾大内線:16.3km	交通量	[台/日]	30,200	22,900
		走行時間	[分]	31	26
		走行時間費用	[億円/年]	176	108
	国道318号:23.7km	交通量	[台/日]	7,500	5,200
		走行時間	[分]	39	38
		走行時間費用	[億円/年]	43	29
	(県)松茂吉野線:17.8km	交通量	[台/日]	27,300	26,100
		走行時間	[分]	31	30
		走行時間費用	[億円/年]	186	175
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計	走行時間費用	[億円/年]	484,640	484,388	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：127,206km	走行時間短縮便益	[億円/年]	485,279	484,976	304

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化（残事業）

様式－3①

事業名：四国横断自動車道（鳴門～高松市境）

（推計時点 H42 年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]	11,600	15,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	40	34	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	92	101	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道11号:52.6km	交通量	[台/日]	20,300	19,400
		走行時間	[分]	110	110
		走行時間費用	[億円/年]	179	175
	(県)高松長尾大内線:16.3km	交通量	[台/日]	23,400	22,900
		走行時間	[分]	26	26
		走行時間費用	[億円/年]	113	108
	国道318号:23.7km	交通量	[台/日]	5,400	5,200
		走行時間	[分]	38	38
		走行時間費用	[億円/年]	31	29
	(県)松茂吉野線:17.8km	交通量	[台/日]	26,600	26,100
		走行時間	[分]	30	30
		走行時間費用	[億円/年]	176	175
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計	走行時間費用	[億円/年]	484,446	484,388	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：127,206km	走行時間短縮便益	[億円/年]	485,037	484,976	61

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：四国横断自動車道(鳴門～高松市境)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成21年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他	センサスデータを使用し、高規格道路の速度は道路種別・車線当たり交通量から設定。また一般道の速度は、沿道条件・交差点密度等の道路条件を考慮し設定。 <input checked="" type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	考慮する場合のみ	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出

箇所名: 四国横断自動車道(鳴門~高松市境)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				-	52	-	
-15年目	S 62	2.3699	101.8	0.5	1		
-14年目	S 63	2.2788	102.5	2	5		
-13年目	H 1	2.1911	105.5	8	17		
-12年目	H 2	2.1068	108.0	50	98		
-11年目	H 3	2.0258	111.0	66	121		
-10年目	H 4	1.9479	112.4	73	127		
-9年目	H 5	1.8730	112.9	77	128		
-8年目	H 6	1.8009	112.8	95	152		
-7年目	H 7	1.7317	112.1	137	212		
-6年目	H 8	1.6651	111.6	233	348		
-5年目	H 9	1.6010	112.6	321	456		
-4年目	H 10	1.5395	112.1	240	329		
-3年目	H 11	1.4802	110.5	381	511		
-2年目	H 12	1.4233	108.7	432	566		
-1年目	H 13	1.3686	107.3	215	274		
暫定供用開始年次	H 14	1.3159	105.3	49	61	16	20
1年目	H 15	1.2653	104.0	15	18	18	22
2年目	H 16	1.2167	102.9	7	8	18	22
3年目	H 17	1.1699	101.6	7	8	19	22
4年目	H 18	1.1249	100.9			19	21
5年目	H 19	1.0816	100.0			19	21
6年目	H 20	1.0400	100.0			20	20
7年目	H 21	1.0000	100.0	6	6	20	20
8年目	H 22	0.9615	100.0	253	243	20	19
9年目	H 23	0.9246	100.0	389	359	20	18
完成供用開始年次	H 24	0.8890	100.0			20	18
11年目	H 25	0.8548	100.0			20	17
12年目	H 26	0.8219	100.0			20	16
13年目	H 27	0.7903	100.0			20	16
14年目	H 28	0.7599	100.0			20	15
15年目	H 29	0.7307	100.0			20	15
16年目	H 30	0.7026	100.0			20	14
17年目	H 31	0.6756	100.0			20	14
18年目	H 32	0.6496	100.0			20	13
19年目	H 33	0.6246	100.0			20	13
20年目	H 34	0.6006	100.0			20	12
21年目	H 35	0.5775	100.0			20	12
22年目	H 36	0.5553	100.0			20	11
23年目	H 37	0.5339	100.0			21	11
24年目	H 38	0.5134	100.0			21	11
25年目	H 39	0.4936	100.0			21	10
26年目	H 40	0.4746	100.0			21	10
27年目	H 41	0.4564	100.0			21	9
28年目	H 42	0.4388	100.0			21	9
29年目	H 43	0.4220	100.0			21	9
30年目	H 44	0.4057	100.0			21	8
31年目	H 45	0.3901	100.0			21	8
32年目	H 46	0.3751	100.0			20	8
33年目	H 47	0.3607	100.0			20	7
34年目	H 48	0.3468	100.0			20	7
35年目	H 49	0.3335	100.0			20	7
36年目	H 50	0.3207	100.0			20	6
37年目	H 51	0.3083	100.0			20	6
38年目	H 52	0.2965	100.0			20	6
39年目	H 53	0.2851	100.0			20	6
40年目	H 54	0.2741	100.0			20	5
41年目	H 55	0.2636	100.0			20	5
42年目	H 56	0.2534	100.0			20	5
43年目	H 57	0.2437	100.0			19	5
44年目	H 58	0.2343	100.0			19	5
45年目	H 59	0.2253	100.0			19	4
46年目	H 60	0.2166	100.0			19	4
47年目	H 61	0.2083	100.0			19	4
48年目	H 62	0.2003	100.0			19	4
49年目	H 63	0.1926	100.0	-620	-119	19	4
合計				2,437	3,929	990	573
単純事業費計				3,057		990	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出

箇所名: 四国横断自動車道(鳴門~高松市境)

				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				-	52	-	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-3年目	H 21	1.0000	100.0	4	4		
-2年目	H 22	0.9615	100.0	151	145		
-1年目	H 23	0.9246	100.0	232	214		
完成供用開始年次	H 24	0.8890	100.0			3	2
1年目	H 25	0.8548	100.0			3	2
2年目	H 26	0.8219	100.0			3	2
3年目	H 27	0.7903	100.0			3	2
4年目	H 28	0.7599	100.0			3	2
5年目	H 29	0.7307	100.0			3	2
6年目	H 30	0.7026	100.0			3	2
7年目	H 31	0.6756	100.0			3	2
8年目	H 32	0.6496	100.0			3	2
9年目	H 33	0.6246	100.0			3	2
10年目	H 34	0.6006	100.0			3	2
11年目	H 35	0.5775	100.0			3	2
12年目	H 36	0.5553	100.0			3	2
13年目	H 37	0.5339	100.0			3	1
14年目	H 38	0.5134	100.0			3	1
15年目	H 39	0.4936	100.0			3	1
16年目	H 40	0.4746	100.0			3	1
17年目	H 41	0.4564	100.0			3	1
18年目	H 42	0.4388	100.0			3	1
19年目	H 43	0.4220	100.0			3	1
20年目	H 44	0.4057	100.0			3	1
21年目	H 45	0.3901	100.0			3	1
22年目	H 46	0.3751	100.0			3	1
23年目	H 47	0.3607	100.0			3	1
24年目	H 48	0.3468	100.0			3	1
25年目	H 49	0.3335	100.0			3	1
26年目	H 50	0.3207	100.0			3	1
27年目	H 51	0.3083	100.0			3	1
28年目	H 52	0.2965	100.0			3	1
29年目	H 53	0.2851	100.0			3	1
30年目	H 54	0.2741	100.0			3	1
31年目	H 55	0.2636	100.0			3	1
32年目	H 56	0.2534	100.0			3	1
33年目	H 57	0.2437	100.0			3	1
34年目	H 58	0.2343	100.0			3	1
35年目	H 59	0.2253	100.0			3	1
36年目	H 60	0.2166	100.0			3	1
37年目	H 61	0.2083	100.0			3	1
38年目	H 62	0.2003	100.0			3	1
39年目	H 63	0.1926	100.0			3	1
40年目	H 64	0.1852	100.0			3	1
41年目	H 65	0.1780	100.0			3	0.5
42年目	H 66	0.1712	100.0			3	0.5
43年目	H 67	0.1646	100.0			3	0.5
44年目	H 68	0.1583	100.0			3	0.4
45年目	H 69	0.1522	100.0			3	0.4
46年目	H 70	0.1463	100.0			3	0.4
47年目	H 71	0.1407	100.0			3	0.4
48年目	H 72	0.1353	100.0			3	0.4
49年目	H 73	0.1301	100.0			3	0.4
合計				387	363	140	56
単純事業費計				387		140	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:四国横断自動車道(鳴門~高松市境)

年次	年度 (基準年) H21	総走行台キロの年次別伸び率 (四国ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車			① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%			
																		③	③×(A)	
完成供用開始年次	H 24	0.99584	0.99239	0.99474	0.8890	100.0	33	6	27	67	60	1	0.1	1	2	2	2	2	72	64
1年目	H 25	0.99582	0.99233	0.99471	0.8548	100.0	33	6	27	67	57	1	0.1	1	2	2	2	2	71	61
2年目	H 26	0.99581	0.99227	0.99468	0.8219	100.0	33	6	27	66	55	1	0.1	1	2	2	2	2	71	58
3年目	H 27	0.99579	0.99221	0.99465	0.7903	100.0	33	6	27	66	52	1	0.1	1	2	2	2	2	70	56
4年目	H 28	0.99577	0.99215	0.99462	0.7599	100.0	33	6	27	66	50	1	0.1	1	2	2	2	2	70	53
5年目	H 29	0.99575	0.99208	0.99459	0.7307	100.0	33	6	26	65	48	1	0.1	1	2	2	2	2	70	51
6年目	H 30	0.99573	0.99202	0.99456	0.7026	100.0	32	6	26	65	45	1	0.1	1	2	2	2	2	69	49
7年目	H 31	0.99572	0.99196	0.99454	0.6756	100.0	32	6	26	64	43	1	0.1	1	2	1	2	1	69	46
8年目	H 32	0.99570	0.99189	0.99451	0.6496	100.0	32	6	26	64	42	1	0.1	1	2	1	2	1	68	44
9年目	H 33	0.99541	0.99467	0.99518	0.6246	100.0	32	6	26	64	40	1	0.1	1	2	1	2	1	68	42
10年目	H 34	0.99539	0.99464	0.99516	0.6006	100.0	32	6	25	63	38	1	0.1	1	2	1	2	1	68	41
11年目	H 35	0.99537	0.99461	0.99513	0.5775	100.0	32	6	25	63	36	1	0.1	1	2	1	2	1	67	39
12年目	H 36	0.99535	0.99458	0.99511	0.5553	100.0	32	6	25	63	35	1	0.1	1	2	1	2	1	67	37
13年目	H 37	0.99533	0.99455	0.99509	0.5339	100.0	31	6	25	62	33	1	0.1	1	2	1	2	1	67	36
14年目	H 38	0.99531	0.99452	0.99506	0.5134	100.0	31	6	25	62	32	1	0.1	1	2	1	2	1	66	34
15年目	H 39	0.99528	0.99449	0.99504	0.4936	100.0	31	6	25	62	30	1	0.1	1	2	1	2	1	66	33
16年目	H 40	0.99526	0.99446	0.99501	0.4746	100.0	31	6	25	61	29	1	0.1	1	2	1	2	1	66	31
17年目	H 41	0.99524	0.99443	0.99499	0.4564	100.0	31	6	25	61	28	1	0.1	1	2	1	2	1	65	30
18年目	H 42	0.99522	0.99440	0.99496	0.4388	100.0	31	6	24	61	27	1	0.1	1	2	1	2	1	65	28
19年目	H 43	0.98958	0.99680	0.99182	0.4220	100.0	30	6	24	60	25	1	0.1	1	2	1	2	1	64	27
20年目	H 44	0.98947	0.99679	0.99175	0.4057	100.0	30	6	24	60	24	1	0.1	1	2	1	2	1	64	26
21年目	H 45	0.98936	0.99678	0.99169	0.3901	100.0	30	6	24	60	23	1	0.1	1	2	1	2	1	64	25
22年目	H 46	0.98924	0.99677	0.99162	0.3751	100.0	29	6	24	59	22	1	0.1	1	2	1	2	1	63	24
23年目	H 47	0.98912	0.99675	0.99155	0.3607	100.0	29	6	24	59	21	1	0.1	1	2	1	2	1	63	23
24年目	H 48	0.98900	0.99674	0.99147	0.3468	100.0	29	6	24	58	20	1	0.1	1	2	1	2	1	62	22
25年目	H 49	0.98888	0.99673	0.99140	0.3335	100.0	28	6	24	58	19	1	0.1	1	2	1	2	1	62	21
26年目	H 50	0.98876	0.99672	0.99133	0.3207	100.0	28	6	24	57	18	1	0.1	1	2	1	2	1	61	20
27年目	H 51	0.98863	0.99671	0.99125	0.3083	100.0	28	6	24	57	18	1	0.1	1	2	1	2	1	61	19
28年目	H 52	0.98850	0.99670	0.99117	0.2965	100.0	27	6	24	57	17	1	0.1	1	2	1	2	1	60	18
29年目	H 53	0.98837	0.99669	0.99109	0.2851	100.0	27	6	24	56	16	1	0.1	1	2	1	2	1	60	17
30年目	H 54	0.98823	0.99668	0.99101	0.2741	100.0	27	5	23	56	15	1	0.1	1	2	1	2	0.5	60	16
31年目	H 55	0.98809	0.99667	0.99093	0.2636	100.0	27	5	23	55	15	1	0.1	1	2	1	2	0.5	59	16
32年目	H 56	0.98794	0.99666	0.99085	0.2534	100.0	26	5	23	55	14	1	0.1	1	2	0	2	0.5	59	15
33年目	H 57	0.98780	0.99665	0.99076	0.2437	100.0	26	5	23	55	13	1	0.1	1	2	0	2	0.4	58	14
34年目	H 58	0.98765	0.99663	0.99068	0.2343	100.0	26	5	23	54	13	1	0.1	1	2	0	2	0.4	58	14
35年目	H 59	0.98749	0.99662	0.99059	0.2253	100.0	25	5	23	54	12	1	0.1	1	2	0	2	0.4	57	13
36年目	H 60	0.98733	0.99661	0.99050	0.2166	100.0	25	5	23	53	12	1	0.1	1	2	0	2	0.4	57	12
37年目	H 61	0.98717	0.99660	0.99041	0.2083	100.0	25	5	23	53	11	1	0.1	1	2	0	2	0.4	56	12
38年目	H 62	0.98700	0.99659	0.99032	0.2003	100.0	24	5	23	52	11	1	0.1	1	2	0	2	0.3	56	11
39年目	H 63	0.98683	0.99658	0.99022	0.1926	100.0	24	5	23	52	10	1	0.1	1	2	0	2	0.3	56	11
40年目	H 64	0.98666	0.99657	0.99013	0.1852	100.0	24	5	23	52	10	1	0.1	1	2	0	2	0.3	55	10
41年目	H 65	0.98648	0.99655	0.99003	0.1780	100.0	23	5	23	51	9	1	0.1	1	2	0	2	0.3	55	10
42年目	H 66	0.98629	0.99654	0.98993	0.1712	100.0	23	5	23	51	9	1	0.1	1	2	0	2	0.3	54	9
43年目	H 67	0.98610	0.99653	0.98983	0.1646	100.0	23	5	22	50	8	1	0.1	1	2	0	2	0.3	54	9
44年目	H 68	0.98591	0.99652	0.98972	0.1583	100.0	22	5	22	50	8	1	0.1	1	2	0	2	0.3	53	8
45年目	H 69	0.98570	0.99651	0.98961	0.1522	100.0	22	5	22	50	8	1	0.1	1	2	0	2	0.2	53	8
46年目	H 70	0.98550	0.99649	0.98950	0.1463	100.0	22	5	22	49	7	1	0.1	1	2	0	2	0.2	52	8
47年目	H 71	0.98528	0.99648	0.98939	0.1407	100.0	21	5	22	49	7	1	0.1	1	2	0	2	0.2	52	7
48年目	H 72	0.98506	0.99647	0.98928	0.1353	100.0	21	5	22	48	7	1	0.1	1	2	0	2	0.2	52	7
49年目	H 73	0.98484	0.99646	0.98916	0.1301	100.0	21	5	22	48	6	1	0.1	1	2	0	2	0.2	51	7
合計							1,400	283	1,206	2,889	1,207	34	3	63	100	42	97	41	3,087	1,290